

第23回三遠南信サミット in 東三河では、「県境連携の蓄積を活かした三遠南信地域の創生～ともに生きる未来を目指して～」をテーマとし、各分科会において、現状を確認し、課題解決のための今後の取り組みについて議論しました。

私たち三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、これまで築いてきた広域的な連携を活かした、時代に合った地域創生への取り組みや連携ビジョンの実現に向け、本日のサミットでの議論を踏まえ、県境広域連携の一層の発展のため、次の事項に重点を置き、事業に取り組みます。

- 1 三遠南信自動車道、新東名高速道路は、圏域内外の対流を促す広域幹線ネットワークの形成に重要な役割を果たし不可欠なものです。また、大規模災害時は、救援活動、物資の輸送、避難路及び救急搬送時にも利用されるなど「命をつなぐ道」として地域に欠かせない社会基盤です。

今後も豊かで質の高い地域社会の実現に向け、三遠南信自動車道の早期全線開通をはじめ、浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現、さらにはリニア中央新幹線の整備促進を目指し、三遠南信地域連携ビジョン推進会議を中心とし、地域一丸となった提言活動を進めます。

さらに、本地域の南北軸の交通基盤であり、中山間地域住民の重要な移動手段である飯田線の利用促進に向けた取り組みや広域的観光資源としての価値創造を図る活動を通じて、リニア効果の地域への波及を導くとともに、住民生活の質の維持・向上を図ります。

- 2 三遠南信地域の創生に向け、輸送用機器産業など多様なものづくり産業集積の維持・強化とともに、成長が見込まれる健康医療産業や航空宇宙産業など将来を担う新産業について産学官金の広域連携にもとづく戦略的な育成により、地域での質の高い雇用を創出し、地域経済の活性化を図ります。

また、本地域内の大学と行政、企業との連携により、地域産業を担う人材の育成を目指したアクションプランを進めます。

- 3 三遠南信地域への新たな人の流れをつくるため、民間団体とも十分に連携し、自然、歴史、文化、産物など地域資源に加え、平成29年NHK大河ドラマ『おんな城主 直虎』を活かした取り組みを進め、持続的な交流人口の拡大を図るとともに、ウェブ上で特色のある地域産品を紹介するアンテナショップなどにより情報発信力を高めます。

また、本地域で大切に受け継がれてきた貴重な無形民俗文化財を活かし、日本遺産の登録を目指します。

- 4 三遠南信地域の特性を活かした、暮らし方や働き方、さらには子育てなど、ライフスタイルに関する情報発信体制の強化により、交流・連携事業を推進し、中山間地域などへの移住定住の促進につなげます。

また、安心して暮らせる地域づくりに向け、広域的または局地的な災害に対応する、県境を越える防災の連携体制の強化に取り組みます。

- 5 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、事業部会の活動を通じて連携ビジョンの確実な進捗を図ります。また、地方創生への対応など、圏域の課題に対して連携して取り組むことのできる体制の整備を目指し、本地域に適した広域連合のあり方について速やかに研究会を立ち上げ、平成28年度の実現を目途として、各自自治体間の協議を加速します。合わせて、全国のほかの県境地域とも連携し、県境を越えた地域政策のさらなる展開を促進します。

これらの取り組みを、ここに集うすべての主体が確認し、第23回三遠南信サミット2016 in 東三河のサミット宣言といたします。

平成28年2月15日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議  
三遠南信サミット2016 in 東三河